

御園和夫先生の略歴と業績リスト

学 歴

- 1969年 3月 明治学院大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程修了（文学修士）
- 2006年 7月 クイーンズランド大学英語学科博士後期課程修了（博士：言語学）（The School of English, Media Studies and Art History, The University of Queensland: PhD, Linguistics）

職 歴

- 1969年 4月 関東学院女子短期大学英文科研究助手（英語講読、英語演習等）
- 1969年 4月－1978年 3月 関東学院大学文学部英米文学科非常勤講師（LL演習；1976年 4月より英語音声学も担当）
- 1971年 4月 関東学院女子短期大学英文科専任講師（英語講読、英語演習、LL演習等を担当）
- 1971年 4月－1981年 3月 明治学院大学文学部非常勤講師（英語講読）
- 1973年 4月－1974年 3月 専修大学商学部非常勤講師（英語講読）
- 1973年 5月－1975年 2月 東京言語研究所〔運営委員長 服部四郎東京大学教授〕主催 理論言語学講座「生成文法」（長谷川欣介東京大学教授）、「生成音韻論」（今井邦彦東京都立大学教授）聴講、単位取得
- 1975年 9月 関東学院女子短期大学英文科助教授
- 1978年 4月 関東学院大学文学部英米文学科助教授
- 1979年 4月－1985年 3月 フェリス女学院短期大学英文科非常勤講師
- 1981年 4月 関東学院大学文学部英米文学科教授（英語音声学、英語学演習、3、4年生次専門ゼミナール、英語科教育法）
- 1981年 4月－1983年 3月 同上 文学部教務主任
- 1984年 6月－1984年 9月 英国レディング大学英語教員研修（文部省およびブリティッシュ・カウンシル共催による研修プログラム）

御園和夫先生の略歴と業績リスト

- 1985年4月－1986年3月 明治学院大学文学部非常勤講師（英語音声学担当）
- 1986年9月－1987年3月 内地留学（上智大学外国語学部大学院音声学研究室）
- 1987年4月－1989年3月 関東学院大学文学部英米文学科長ならびに大学評議員
- 1988年4月－1989年3月 東洋英和女学院短期大学英文科非常勤講師
- 1989年4月－1990年3月 米国カリフォルニア大学ロスアンゼルス校応用言語学部客員研究員（英語音声学および英語教授法研究）
- 1992年4月－1996年3月 文学部長ならびに、大学評議員、法人理事、関東学院法人評議員
- 1992年4月－1996年3月 放送大学面接授業講師（「英語 III」担当）
- 1993年4月 関東学院大学文学研究科英語英米文学専攻修士課程新設に伴い講座担当（「英語学研究」、「英語学演習」担当）
- 1995年4月 同上指導教授（「英語学研究」、「英語学演習」担当）
- 1995年9月 同大学文学研究科英語英米文学博士後期課程増設に伴う文部省教員資格審査において指導教授の判定を受ける。（「英語学特殊研究」）
- 1997年4月－1999年3月 文学研究科英語英米文学専攻主任
- 1998年4月－2001年3月 同大学国際センター所長
- 1999年4月－2001年3月 大学評議員
- 2001年4月－2005年3月 関東学院法人評議員
- 2001年4月－2001年9月 オーストラリア、クイーンズランド大学英語科客員教授（The University of Queensland, School of English, Media Studies and Art History）
- 2002年4月－2004年3月 関東学院大学文学研究科委員長
- 2003年4月－2004年3月 同大学大学院議長
- 2004年2月－2007年3月 大学院英語英米文学専攻主任
- 2005年4月－2012年3月 学習院大学講師（英語音声学担当）
- 2006年11月－2006年12月 関東学院大学文学部長
- 2006年12月－2007年1月 同上 事務取扱

研 究 業 績

I. 著書

- | | | | |
|---|---------------|-----------|-------------|
| 1. 『演習・英語音声学』 | 単 | 1979年 6 月 | 和広出版 |
| 2. 『発音クリニック』 | 単 | 1983年12月 | 日本英語教育協会 |
| 3. 『みてすぐわかる英文解釈』 | 単 | 1984年 7 月 | 三省堂 |
| 4. 『気にしなさんな、英語の用法』 | 共訳
(細矢和夫氏) | 1986年 6 月 | 三省堂 (選書129) |
| 5. 『英語のヒアリング—ここがミソなのヒアリング—』 | 単 | 1987年 8 月 | 日本英語教育協会 |
| 6. 『演習・英語音声学』[増補・改訂版] | 単 | 1989年 4 月 | 和広出版 |
| 7. 『成功する英語表現講座』 | 単 | 1994年 4 月 | 南雲堂 |
| 8. 『文学・ことば・思想』 | 共 | 1995年 4 月 | 丸善プラネット |
| 9. 『英語音声学研究—理論と応用—』 | 単 | 1995年 6 月 | 和広出版 |
| 10. 『英語の音節—構造と分節—』 | 単 | 2001年 8 月 | 北星堂 |
| 11. 『コミュニケーション主体の英語音声学』 | 共
(平坂文男氏) | 2005年 2 月 | 和広出版 |
| 12. <i>Vowel Space in English: Regional Variants and their Perception by Japanese Learners of English</i> | 単 | 2007年 2 月 | 北星堂 |
| 13. 『英語発音指導マニュアル』 | 共 | 2009年11月 | (編集主幹) 北星堂 |

他十数冊。

II. 学術論文

- | | | | |
|---|---|-----------|--------------------|
| 1. Intonation Patterns in English Movies | 単 | 1967年 2 月 | 明治学院大学学士論文 |
| 2. Phoneme (音素) の歴史 | 単 | 1968年 6 月 | 明治学院大学英文学会誌 No. 29 |
| 3. A Prosodic Aspect of Present-Day English | 単 | 1969年 1 月 | 明治学院大学大学院修士論文 |

御園和夫先生の略歴と業績リスト

- | | | | |
|--|---|----------|----------------------------------|
| 4. アイソクロニズム | 単 | 1969年3月 | 英語英米文学研究誌
『シルフェ』第1号 |
| 5. Intonation, Perception, and Language | 単 | 1969年3月 | 明治学院大学英文学会誌 No. 31 |
| 6. Intonation and Nucleus | 単 | 1970年3月 | 『シルフェ』第4号 |
| 7. The Order of Prenominal Modifiers | 単 | 1970年7月 | 関東学院女子短期大学『短大論叢』第40集 |
| 8. 音分類再考—母音と子音— | 単 | 1971年6月 | 『短大論叢』第44集 |
| 9. 様態副詞の生成過程について | 単 | 1972年7月 | 『短大論叢』第46集 |
| 10. 副詞の〈+transportable〉素性覚え書 | 単 | 1972年11月 | 『短大論叢』第47集 |
| 11. 音生成に関する狭搾機能の役割 | 単 | 1973年7月 | 『短大論叢』第49集 |
| 12. 言語—思考表現の基盤 (1) — | 単 | 1974年3月 | 英語英米文学研究誌
『シルフェ』第13号
金星堂発行 |
| 13. 言語—思考表現の基盤 (2) — | 単 | 1974年9月 | 『短大論叢』第52集 |
| 14. 言語—思考表現の基盤 (3) — | 単 | 1975年2月 | 『シルフェ』第14号
金星堂発行 |
| 15. 言語—思考表現の基盤 (4) — | 単 | 1975年9月 | 『短大論叢』第54集 |
| 16. 言語—思考表現の基盤 (5) — | 単 | 1976年12月 | 『シルフェ』第16号
金星堂発行 |
| 17. 言語—思考表現の基盤 (6) — | 単 | 1977年2月 | 『短大論叢』第57集 |
| 18. 英語における日本語原語の外来語 | 単 | 1978年2月 | 『短大論叢』第59集 |
| 19. 成節子音—その環境と条件— | 単 | 1979年2月 | 『シルフェ』第18号
金星堂発行 |
| 20. Duration Quantum—音の長さ— | 単 | 1980年2月 | 『シルフェ』第19号
金星堂発行 |
| 21. チョスキーにおける Proto-Transformationalism —ポール・ロワイヤルの文法— | 単 | 1980年3月 | 関東学院大学『文学部紀要』第29号 |
| 22. 「ポール・ロワイヤル文法」にみられる言語の深層性 | 単 | 1980年7月 | 関東学院大学『文学部紀要』第30号 |

- | | | | |
|---|------------------|-----------|---------------------|
| 23. L'Art de Parler —『ポール・ロワイヤル文法』における音と文字— | 単 | 1981年 2 月 | 『シルフェ』第20号
金星堂発行 |
| 24. 英語音声教育における「強勢」の指導について—米語文ストレスとその基本周波数— | 共 | 1983年 5 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第38号 |
| 25. Durational Analysis of Vowels and Consonants in English: Based upon Sound Spectrograph Readings | 単 | 1984年 1 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第39号 |
| 26. Varying Quality of Mid-Central Unstressed Vowel [ə]: Based on Sound Spectrograph Readings | 単 | 1987年 8 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第50号 |
| 27. 翻訳アラカルト—気にしなさんな、英語の用法— | 単 | 1987年 2 月 | 『シルフェ』第28号
金星堂発行 |
| 28. 『ビグマリオン』と音声学者ヘンリー・スウィート | 単 | 1990年 8 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第59号 |
| 29. Cardinal Vowels 批判について | 単 | 1991年 2 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第60号 |
| 30. 音声学—Sweet と Ladefoged の間隔— | 単 | 1991年 3 月 | 『シルフェ』第30号
金星堂発行 |
| 31. 日本語母語話者による英語二重母音の第二要素の認識について | 共
(平坂文
男氏) | 1991年 3 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第62号 |
| 32. LL等における英語弱母音 [ə] の音声指導 | 単 | 1992年 2 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第63号 |
| 33. 母音変化に与えた r の影響 | 単 | 1992年 3 月 | 『シルフェ』第31号
金星堂発行 |
| 34. GB理論における「統率」について | 単 | 1992年 6 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第64号 |
| 35. スコットランド英語の二重母音に関する一考察—スターリング地方を中心に— | 単 | 1993年10月 | 関東学院大学『文学部紀要』第68号 |
| 36. OEDとIPA | 単 | 1994年 2 月 | 『シルフェ』第33号
金星堂発行 |

御園和夫先生の略歴と業績リスト

- | | | | |
|--|------------------|-----------|--------------------------------------|
| 37. 音声学者の系譜 | 単 | 1994年 3 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第69号 |
| 38. 言語の発話速度 | 単 | 1994年12月 | 関東学院大学『文学部紀要』第72号 |
| 39. 変貌する容認発音 | 単 | 1995年 2 月 | 『シルフェ』第34号
金星堂発行 |
| 40. Speech Sounds and Phonetics | 単 | 1995年 3 月 | 関東学院大学文学部 創立25周年記念論文集 |
| 41. 'l' のゆくえ—消失と保有— | 単 | 1996年 2 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第75号 |
| 42. 音声間の識別距離 | 単 | 1996年 2 月 | 『シルフェ』第35号
金星堂発行 |
| 43. Move α から Attract α へ—移動規則—
GBからミニマリスト・プログラムへ— | 単 | 1996年 3 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第76号 |
| 44. 英語母音 [ʌ] の調音範囲について | 単 | 1996年12月 | 関東学院大学『文学部紀要』第78号 |
| 45. 音声調音時の環境要素 'Setting' | 単 | 1996年12月 | 関東学院大学『文学部紀要』第79号
(市瀬幸平先生退職記念特集号) |
| 46. 英語母音体系の基底形と変種 | 単 | 1997年 2 月 | 『シルフェ』第36号
金星堂発行 |
| 47. A Study of Some Phonetic Features in the Deep South (Part 1: Diphthongs): Based on Fieldwork Research | 共
(平坂文
男氏) | 1997年 3 月 | 関東学院大学人文科学研究所『所報』第20号 |
| 48. 調音努力と聴取努力 | 単 | 1997年 5 月 | 日本英語音声学会『英語音声学』第1号 |
| 49. Fieldwork Research of Some Phonetic Features of English in the Deep South: Monophthongs, Postvocalic r, Final Consonant Clusters | 共
(平坂文
男氏) | 1997年 7 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第80号 |

- | | | | |
|--|------------------|----------|--|
| 50. Daniel Jones: Edited by Peter Roach and James Hartman, <i>English Pronouncing Dictionary</i> , 15th Edition 書評論文 | | 1997年12月 | 日本音声学会『音声研究』第1巻第3号 |
| 51. RPからBBC English/ Network Englishへ | 単 | 1997年12月 | 関東学院大学『文学部紀要』第81号 |
| 52. 一番長い英単語 | 単 | 1998年2月 | 『シルフェ』第37号
金星堂発行 |
| 53. Field Research in Norwich: Vowels in English | 単 | 1998年7月 | 日本英語音声学会『英語音声学』第2号 |
| 54. リスニング・テストに対する日本人学生の識別度 | | 1998年12月 | 関東学院大学英語英米文学会 <i>OLIVA</i> No. 5 (長谷川潔先生退職記念号) |
| 55. 「音節の重要性」 | 単 | 1998年12月 | 関東学院大学『文学部紀要』第83号
(湊井東先生退職記念特集) |
| 56. ‘Onset’ と ‘Coda’ | 単 | 1998年12月 | 関東学院大学『文学部紀要』第84号
(久保輝巳先生退職記念特集号) |
| 57. Field Research of English Vowels in Southwestern England | 共
(平坂文
男氏) | 1999年3月 | 関東学院大学人文科学研究所『所報』第22号 |
| 58. 英語の音節定義諸説 | 単 | 2000年2月 | 『シルフェ』第39号
金星堂発行 |
| 59. 英語の音節境界に見られる音声現象と分節基準について | 単 | 2000年3月 | 関東学院大学『文学部紀要』第88号 |
| 60. Ambisyllabicity in English | 単 | 2000年3月 | 日本英語音声学会『英語音声学』第3号 |
| 61. Resyllabification | 単 | 2001年2月 | 『シルフェ』第40号
金星堂発行 |

御園和夫先生の略歴と業績リスト

- | | | | |
|---|------------------|----------|--|
| 62. A Study of English Vowels in Queensland, Australia: Monophthongs | 単 | 2002年10月 | <i>Bulletin of Kanto Gakuin University</i> No. 95 |
| 63. Phonetic Features of the Final <i>Y</i> in English | 共 | 2002年11月 | 日本英語音声学会『英語音声学』第5号 |
| 64. English Education in Japan: Current Issues and Future Directions | 単 | 2003年2月 | <i>Silphe</i> No. 42
金星堂発行 |
| 65. A Basic Vowel System and its Varieties in Present-Day English | 単 | 2003年1月 | 関東学院大学『文学部紀要』第97号 |
| 66. Regarding English Diphthongs in Queensland, Australia | 単 | 2003年7月 | 関東学院大学『文学部紀要』第98号 |
| 67. Phonetic Features of Recent American English Vowels: Centering on LA and NY | 共
(平坂文
男氏) | | 日本英語音声学
<i>English Phonetics</i>
No. 6. 『英語音声学』第6号 |
| 68. A General View of Australian English Vowels | 単 | 2003年12月 | 関東学院大学『文学部紀要』第99号 |
| 69. 英語の母音変化—エリザベス女王の30年間— | 単 | 2004年2月 | 英語英米文学研究誌『シルフェ』第43号
金星堂発行 |
| 70. インターネットを利用した英語音声教材の配信について | 共
(平坂文
男氏) | 2004年3月 | 関東学院大学人文科学研究所『所報』第27号 |
| 71. A Vowel Merger in English: <i>cot</i> and <i>caught</i> in LA | 単 | 2004年3月 | 関東学院大学『文学部紀要』第100号 |
| 72. Vowel Changes of Queen Elizabeth II over Three Decades | 単 | 2004年9月 | 関東学院大学『文学部紀要』第101号 |
| 73. On the Phonetic Features that Americans Use to Distinguish Dialects | 単 | 2004年12月 | 関東学院大学『文学部紀要』第102号 |
| 74. RPとコックニーとエスチュアリ英語の発音 | 単 | 2005年2月 | 英語英米文学研究誌『シルフェ』第44号
金星堂発行 |

- | | | | |
|---|------------------|-----------|--|
| 75. Communicative Readingのすすめ—英語は相手に分かってもらわないと— | 共 | | 『英語のしくみと英語のこころ』
北星堂 |
| 76. A Study of the Final Y in English | 共
(平坂文
男氏) | 2005年 7 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第104号 |
| 77. 英語の接尾辞における弱母音について—[ɪ] or [ə]? | 共
(平坂文
男氏) | 2006年10月 | 日本英語音声学会
『英語音声学』9,
10合併号 |
| 78. 英語接尾辞弱母音の性質:[ɪ] or [ə]?—親子3代に見られる特徴 | 共
(平坂文
男氏) | 2006年12月 | 関東学院大学『文学部紀要』第108号 |
| 79. 世界の英語たち?—どこへ向かう日本の英語教育— | 単 | 2007年 2 月 | 英語英米文学研究
誌『シルフェ』第
46号 金星堂発行 |
| 80. 英語母音連鎖推移: Northern Cities Shift を中心に | 単 | 2007年 3 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第109号 |
| 81. todayの 'ay' は [aɪ]? or [ʌɪ]?—オーストラリア英語の二重母音に関する一考察— | 単 | 2007年 7 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第110号 |
| 82. 英語発音辞典拾い読み—英語音声教育ミニ知識— | 単 | 2008年 2 月 | 英語英米文学研究
誌『シルフェ』第
47号 金星堂発行 |
| 83. インターネットを用いた発音学習のための教材作成と提示のためのソフトウエアについて | 共
(平坂文
男氏) | 2008年 3 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第112号 |
| 84. [ə] の音声指導について | 共
(平坂文
男氏) | 2008年 3 月 | 日本英語音声学会
<i>English Phonetics</i>
No. 11 & 12 pp. 23-40. |
| 85. 二重母音と二母音連続 | 共
(平坂文
男氏) | 2008年 7 月 | 関東学院大学『文学部紀要』第113号 |
| 86. インターネットを用いた外国語発音学習のための録音機能を有したウェブ・ブラウザについて | 共
(平坂文
男氏) | 2008年12月 | 関東学院大学『文学部紀要』第114号 |

御園和夫先生の略歴と業績リスト

- | | | | |
|---|------------------|------------|---|
| 87. Goose fronting —[u:] の前舌化— | 共
(平坂文
男氏) | 2009年 3 月 | 関東学院大学『文
学部紀要』第115号 |
| 88. 21世紀の英語音声教育を考える
—「第1回英語音声教育オーストラ
リア冬季研修講座」で実践を— | 単 | 2009年 3 月 | 日本英語音声学会
『英語音声学』第13号 |
| 89. 第二言語習得理論のまとめ：国
内編 | 共
(戸高
祐一) | 2009年 3 月 | 日本英語音声学会
『英語音声学』第13号 |
| 90. 英語母音空間—米国大統領の場
合— | 単 | 2009年 7 月 | 関東学院大学『文
学部紀要』第116号 |
| 91. 世界の英語と英語の母音 | 単 | 2010年12月 | 関東学院大学『文
学部紀要』第117号 |
| 92. 英語はStress-timed Rhythmの言語
か？—Barrowing Ruleの効用— | | 2010年 3 月 | 関東学院大学『文
学部紀要』第118号 |
| 93. 英語大母音推移—なぜ、どの母
音から動き始めたか— | | 2010年 7 月 | 関東学院大学『文
学部紀要』第119号 |
| 94. 補助言語としての英語発音指導
と英語変種に対する日本人英語
学習者の母音識別能力 | 単 | 2010年12月 | 関東学院大学『文
学部紀要』第120・
121合併号 上巻 |
| 95. 英語発音辞典を「読む」—音の
ゆれ— | 単 | 2011年 3 月 | 関東学院大学文学
部英語英米文学会
<i>OLIVA</i> 第17号 |
| 96. <i>LPD</i> by Dr Wells: a vade mecum | 単 | March 2011 | <i>English Phonetics</i>
No.14 & 15『英語音
声学』14・15合併号
日本英語音声学会 |
| 97. 英語発音辞典 <i>LPD</i> の 'Preference
Poll' について | 単 | 2011年 7 月 | 関東学院大学『文
学部紀要』第122号 |
| 98. 英語における強強勢の「ゆれ」に
ついて— <i>princess</i> : ['_ _]? or
[_ ' _]?— | 単 | 2011年12月 | 関東学院大学『文
学部紀要』第123号
(御園和夫退職記念
号) |

その他十数編。

Ⅲ. 口頭発表・講演 (学会関係)

- | | | | |
|--|---|------------|---|
| 1. 機械的手法による音分析の一考察 | 単 | 1969年1月 | 関東地方私立七大学大学院連絡協議会第2回研究発表会 於：上智大学 |
| 2. 英語の弱母音 [ə] の音声指導について | 単 | 平成3年7月 | 日本語学ラボラトリー学会 第31全国研究会
於：福岡大学 |
| 3. アメリカ深南部地域の母音の一考察—フィールドワークを基に— | 単 | 1997年6月14日 | 第2回日本英語音声学会全国大会
於：福岡筑紫女学園大学 |
| 4. 英語音声学とフィールドワークの重要性 (講演) | | 1998年3月7日 | 英語音声学会 名古屋支部研究会
於：愛知学院大学 |
| 5. 日本英語音声学会 日韓英語音声学サミット司会 | | 1998年7月26日 | 於：愛知学院大學 |
| 6. 英語音声学会第4回沖縄全国大会 シンポジウム司会 | | 1999年11月7日 | 「21世紀の英語音声教育を考える」(基調講演：長谷川潔先生) 司会
於：沖縄国際大学 |
| 7. 英国南西部における英語母音の特徴 | | 1999年6月11日 | 英語音声学会関西支部
於：愛知学院大学 |
| 8. The Importance of the Phonetic Factors in Language Learning | 単 | 2000年7月28日 | 日韓合同英語音声学会基調講演
於：ソウル大学 |
| 9. オーストラリア英語発音の特徴 | 単 | 2001年12月1日 | 日本英語音声学会第10回中部支部研究大会
於：名古屋ホテル |

御園和夫先生の略歴と業績リスト

- | | | | |
|---|------------------|-------------|--|
| 10. 英語末尾母音 Y の音声的特長 | 共
(平坂文
男氏) | 2002年9月21日 | 日本英語音声学会
第7回全国大会
於：昭和女子大学 |
| 11. D. Jones の基本母音について
—批判と音響分析— | 単 | 2003年2月20日 | 日本英語音声学会
中部支部第7回研
究会 於：愛知女
子短期大学 |
| 12. インターネットを用いた音声教
材の配信について | 共
(平坂文
男氏) | 2003年10月4日 | 日本英語音声学会
第8回全国大会
於：北海道医療大学
札幌サテライト校舎 |
| 13. アメリカ英語母音の最近の特徴
—LAとNYを中心に— | 単 | 2003年11月22日 | 日本英語音声学会
第5回研究大会
於：早稲田大学 |
| 14. アメリカ英語の母音融合—cot と
caught の音質と長さについて— | 単 | 2004年6月19日 | 日本英語音声学会
第9回全国大会
於：関西学院大学 |
| 15. 英語の発音は親から子へどう継
承されるか—3世代の母音分析 | 共
(平坂文
男氏) | 2004年11月20日 | 日本英語音声学会
第6回関東支部研
究会 於：専修大
学神田キャンパス |
| 16. 英語音声学の理論研究と現場へ
の応用 | 単 | 2005年3月7日 | 日本英語音声学会中
部支部英語教育音声
学セミナー（講演）
於：私学共済事業団
名古屋ガーデンパレ
ス |
| 17. 弱音節における英語母音の音質
—[ɪ] or [ə]? | 単 | 2006年6月24日 | 日本英語音声学会
第7回関東支部研
究会 於：白百合
女子大学 |

- | | | | |
|--|------------------|-------------|--|
| 18. オーストラリア英語における todayの二重母音の音質について—[aɪ] or [ʌɪ]? | 単 | 2007年5月26日 | 日本英語音声学会
関西・中国支部研究会 於：大阪青山短期大学 |
| 19. 英語で世界を歩こう—楽しく学ぶ英語の一般常識と異文化コミュニケーション | | 2007年7月24日 | 神奈川県立総合教育センター主催
於：神奈川県立総合教育センター善行庁舎 |
| 20. [ə] の音声指導について | 共
(平坂文
男氏) | 2007年10月27日 | 日本英語音声学会
東北・北海道支部
第1回研究大会
於：東北学院大学
土樋キャンパス |
| 21. 21世紀を生き抜く英語教育 | 単 | 2008年10月6日 | 於：沖縄県立総合教育センター |
| 22. 今日のコミュニケーション中心の英語教育における音声教育とは | 単 | 2008年10月18日 | 外国語教育メディア学会 関東支部研究会 基調講演
於：関東学院大学
関内メディアセンター |
| 23. 我が国の英語教育の動向—どうなる小学校英語 | 単 | 2008年11月15日 | 於：関東学院六浦小学校 |
| 24. 21世紀の英語音声教育を考える—「第1回英語音声教育オーストラリア冬季研修講座」 | 単 | 2008年11月29日 | 日本英語音声学会
全国大会 基調講演 |
| 25. 我が国の英語音声教育を活性化させるための試み—「第1回英語音声教育オーストラリア 冬季英語研修講座」を活用する— | 単 | 2009年3月7日 | 日本英語音声学会
中部支部第16回研究会 於：ホテル錦 (名古屋) |
| 26. 世界の英語と英語の母音 | 単 | 2009年6月27日 | 日本音声学会第14回
全国大会 基調講演
於：函館大学 |

御園和夫先生の略歴と業績リスト

- | | | | |
|---|---|------------|---|
| 27. 英語発音辞典を読む | 単 | 2010年3月6日 | 日本英語音声学会第17回中部支部研究会
於：東京第一ホテル錦（名古屋） |
| 28. アメリカ大統領の母音の特徴
—ルーズベルトからオバマまで：
オバマ大統領の英語はなぜ聞き
やすいか— | 単 | 2010年5月30日 | 日本英語音声学会第12回関東支部研究会
於：早稲田大学 |
| 29. 英語発音辞典LPDにおける
‘Preference Poll’ について | 単 | 2010年6月26日 | 日本英語音声学会第15回全国大会
於：関西学院大学 |
| 30. 英単語で第1音節に強強勢のある割合 | 共 | 2010年12月4日 | 日本英語音声学会第10回四国・九州・沖縄支部研究大会
於：筑紫女学院大学 |
| 31. 英語における単音節語の頻度
—音声を中心に収集した資料を
基に— | 共 | 2011年3月5日 | 日本英語音声学会第18回中部支部大会
於：ホテル錦（名古屋） |

他十数回に加え、英語教員、高校生対象の講演100回以上。

学会及び社会における主な活動等

- | | |
|-----------------|---|
| 1969年4月—現在 | 日本英文学会会員 |
| 1969年4月—現在 | 語学ラボラトリー学会（LLA）会員 [2000年4月、外国語教育メディア学会に改称] |
| 1969年4月—現在 | 英語英米文学研究会「シルフェ会」会員（2000年6月—2008年5月、シルフェ英語英文学研究会（同上 改名）会長） |
| 1971年3月—現在 | 日本音声学会会員 |
| 1978年4月—1982年3月 | 語学ラボラトリー学会 関東支部会計係、広報係 |

- 1982年4月—1989年3月 同上 関東支部評議員
- 1985年4月—1987年3月 日本音声学会評議員
- 1986年4月—現在 日本英語学会会員
- 1992年4月—1998年3月 日本音声学会評議員
- 1995年3月—現在 大学英語教育学会会員
- 1997年11月—現在 日本英語音声学会副会長
- 2003年4月 文部科学省より「英語教員研修講師」を委嘱される。担当分野A1 (Pronunciation「発音」)
- 2004年4月1日—2008年3月 日本音声学会評議員
- 2004年5月—現在 国際英語音声学会 (IPA) 会員
- 2007年5月—現在 英語面白楽会、ニッポン会長
- 2008年3月—2010年3月 財団法人日本英語教育協会評議員
- 2008年12月—現在 南木曾町通信制単位制高等学校審議委員
- 2010年5月 関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化研究科より博士学位申請論文審査委員を委嘱される。(審査日 2010年6月26日)
- 2010年8月18日—20日 The 1st Institute on Phonetics in TESOL (第1回英語音声教育研修講座) 日本側実行委員長 日本英語音声学会主催、クイーンズランド大学後援 於：早稲田大学、関西学院大学大阪サテライト校舎
- 2011年8月18日—22日 The 2nd Institute on Phonetics in TESOL (第2回英語音声教育研修講座) 日本側実行委員長 日本英語音声学会主催、クイーンズランド大学後援 於：クイーンズランド大学 セント・ジョーンズカレッジ

その他 (英語関係の主なもの)

- 1975年—1995年 「百万人の英語ラジオ講座」、「大学受験英語ラジオ講座」(旺文社、文化放送、他)、「ミソノのラクラク英語TV講座」(12CH)などを担当
- 1970—現在 英語学習教材編集、監修多数。
- 2002年6月—現在 ネット配信英語講座「御園和夫の英語面白講座」単Web版『百万人の英語』(財)日本教育測定研究所(旺文社グループ)